

# 外国語のススメ LL研究室

—●21●—

## 英語

佐島 直子 経済学部教授

中学時代、英語の授業が嫌いだった。嫌いな理由はやるのが幼稚だからである。「これはペンです」と皆で声を揃えて発音するなんて笑えない。大体、「これはペンです」などと日常生活で言う場面は想定できない。そんなことをする時間があったら、日本語の本をたくさん読んで、世界の歴史や文化(自分がまだ知らないこと)を学ぶほうがずっと役に立つ、と思っていた。

高校時代、もうちょっとまじめな外国語はないか、と思いドイツ語部に入った。しかし入部直後に虫垂炎をこじらせて腹膜炎を併発、長期入院を余儀なくされて、ドイツ語どころではなくなった。退院、復学後は、



▲ チェイニー夫妻と竜安寺にて

皆に追いつくために学業に精を出したけれど、相変わらず英語の授業だけは嫌いだ。テキストの内容が他科目に比べて、浅薄だと感じた。

大学時代の専攻は法律だったから、英語の勉強は最小限ですんだ。しかし、「知らないことを知りたい」という気持ちが度々抑えきれなくなり、カナダに留学したり、ドイツ語(第2外国語)に加えイタリア語(第3外国語)を学んだりした。

就職した防衛庁(当時)は、同盟国(米国)の言語から逃れられない組織だったから、任務遂行のために、英語漬けになった。チェイニー国防長官(後に副大統領)の通訳を担当した。そして、仕事の合間に大学院(夜間部)に通い、国際政治を専攻、それを奇貨として研究所勤務に転じた結果、期せずして英文の研究業績が増えていった。

＊続きはLL研究室のホームページで

## 私は英語が嫌いだった



▲ 紹介される楊教授(左端)とカルガリー大生。左から2人目が板坂教授=5月15日

その1週間前(8日)の同授業で、楊教授を講師に、カルガリー大学と生田キャンパスを結んだ遠隔授業「盛久伝説に見る中世と近世の間」を受けたばかり。受講生にとって楊先生の登場は、うれしい「サプライズ」になった。

江戸期の日本文学・文化を学ぶ板坂教授のゼミや授業では、海外の大学に「カルガリーの学生は村上春樹など日本文学や作家をよく知っていて教えられることが多い。こちらをもっと勉強しなければ」と板坂ゼミの秋山

と「ネット会議システム」などで結んで共同授業や遠隔授業を行っている。これは海外の学生が日本文化講義(板坂教授担当)の教室を訪ねた。教室では80人の受講生から大きな拍手が湧き起こった。

同28日には、生田キャンパスの食堂キッチンで総勢50人が参加して、板坂ゼミ・カルガリー大学生合同の「お茶会」が開かれた。お茶とケーキを共にしながら約1時間、打ち解けておしゃべりを楽しんだ。一面に写真。

「カルガリーの学生は村上春樹など日本文学や作家をよく知っていて教えられることが多い。こちらをもっと勉強しなければ」と板坂ゼミの秋山

# カルガリー大生20人

# 交流

# 文学部 板坂ゼミ生

と「ネット会議システム」などで結んで共同授業や遠隔授業を行っている。

5月10日から始まった大学生20人が、文学部の春期日本語・日本事情プログラム(4週間コース)に参加するため来日したカナダのカルガリー語の授業の休憩時間を利用した。

20人は5月15日、日本文化講義(板坂教授担当)の教室を訪ねた。教室では80人の受講生から大きな拍手が湧き起こった。

同28日には、生田キャンパスの食堂キッチンで総勢50人が参加して、板坂ゼミ・カルガリー大学生合同の「お茶会」が開かれた。お茶とケーキを共にしながら約1時間、打ち解けておしゃべりを楽しんだ。一面に写真。

「カルガリーの学生は村上春樹など日本文学や作家をよく知っていて教えられることが多い。こちらをもっと勉強しなければ」と板坂ゼミの秋山

## 和やかに 留学生を囲む会



5月15日、生田キャンパスで校友会・育友会共催の「留学生を囲む会」が開かれ、グループディスカッションや懇談会を通して親睦を深めた。写真。

甘竹秀雄校友会長、渡邊信育友会長(当時)ら両会の役員、中国・韓国・香港・台湾からの留学生33人をはじめ、国際交流

談や留学生との交流企画など、多彩な企画で海外留学や国際交流に関する情報を提供する。学生全体の留学・異文化への関心・理解を高める良い機会となる。

▽日時 7月6日(土) 10時~15時▽会場 生田キャンパス ※各企画の詳細は国際交流センターホームページでご確認ください。 国際交流事務局 ☎044-911-1250

## 13年度長期交換留学生(第2期)

2013年度の長期交換留学生及び交換留学奨学生(第2期)が次の11人に決まった。氏名と留

- 【英語圏】(敬称略)
- オレゴン大学(米国)
- ▽岡山大学(経済3)
- ▽鈴木郁実(商4)
- ▽松村英明(文4)
- ▽宇川雅樹(文3)
- ▽三浦可歩(文3)
- ▽木下寛之(文3)
- サスケエハナ大学(米国)
- 熊澤翔(文3)
- マウントアリソン大学(カナダ)
- 鈴木優太(文3)
- 加藤一真(文3)
- ネブラスカ大学リンカ

先は以下の通り。

●【英語以外の外国語圏】

- イベロアメリカーナ大学(メキシコ)
- ▽笠井美子(商3)
- 濱本隆子(商3)

●【英語以外の外国語圏】

- イベロアメリカーナ大学(メキシコ)
- ▽笠井美子(商3)
- 濱本隆子(商3)

## 国際交流情報

第10回海外留学・国際交流フェア

帰国学生による個別相談

第8回高校生のための経営学実践講座「マネジャー体験を先取りしよう！」

「モスバーガー」を展

開する(株)モスフードサー

## 46回青衿祭開く

連合県人会主催の新人

生歓迎イベント「第46回

青衿祭(山下翔実行委

員長・経済4)が6月1

日、新宿区の日本青年館

## キャンパス情報

第8回高校生のための経営学実践講座「マネジャー体験を先取りしよう！」

「モスバーガー」を展

開する(株)モスフードサー

の体験を交えながらアド

## 梅雨の季節を迎え、

新入生も大学生活にだ

いぶ慣れてきた頃であ

る。入学したての頃

は、新たな大学生活に

## 文化的教養の勧め

大学は講義で

学ぶだけではなく

文化的教養を

育む絶好の場

## 漫画研究同好会

### 「花言葉」 めん(文4)



あ、アイス食いてー